SONY

2-319-275-**02**(1)

サイバーショットステーション

Cyber-shot Station

取扱説明書

JP

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のために注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CSS-PC1

⚠警告 安全のために

13～15ページも合わせて
お読みください。

ソニー製品は、安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **定期的に点検する**
  1 年に 1 度は、AC アダプターの電源プラグ部に異常がないか、故障したまま使用していないか、また、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。
- **故障したら使わずに、ソニーの相談窓口に相談する**
- **万一、異常が起きたら**

変な音やにおい、煙が出た場合は ➡

❶ AC アダプターをコンセントから抜く
❷ カメラを本機からはずす
❸ カメラのバッテリーをはずす
❹ ソニーの相談窓口に相談する

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。
⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災　感電

行為を禁止する記号



禁止　分解禁止　ぬれ手禁止　接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く　指示

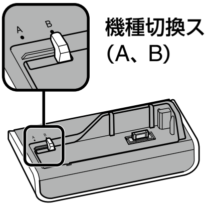
目次

お使いになる前に必ずお読みください

本取扱説明書とあわせて、お使いのカメラの取扱説明書もご確認ください。

本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません

機種切換スイッチについて



- 本機の機種切換スイッチ(A、B)を設定することで、お使いのカメラに対応します。
  詳しくは、8ページをご覧ください。
- お買い上げ時の機種切換スイッチは「B」に設定してあります。
- 必ず機種切換スイッチを指定の位置に設定してからご使用ください。指定の位置に設定しないままご使用になると、故障の原因になります。

置いてはいけない場所

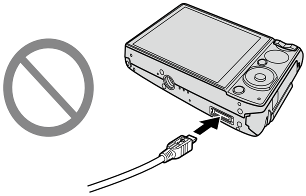
使用中、保管中にかかわらず、次のような場所に置かないでください。故障の原因になります。

- 異常に高温になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変形したり故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所

使用について

- ACアダプターは手近なコンセントを使用してください。本機を使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- ACアダプターを壁との隙間など狭い場所に設置して使用しないでください。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく再生できないことがあります。
- 本体や接続コードの接点部に他金属類が触れないようにしてください。ショートすることがあります。

• 付属のUSBケーブルをカメラ底面のマルチ接続端子に挿入しないでください。マルチ接続端子が破損することがあります。



撮影内容の補償はできません

• 万一、カメラや記録メディア、本機の不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

電波障害自主規制について

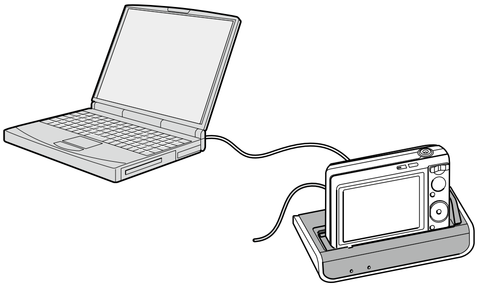
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

主な特長

CSS-PC1は、DSC-T100、DSC-T25、DSC-T20、DSC-W200、DSC-W90、DSC-W85、DSC-W80でご使用いただけます。対象のデジタルスチルカメラはすべての国で取り扱いしているわけではありません。

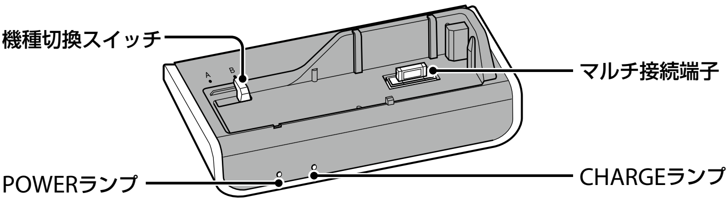
本機にデジタルスチルカメラ（以下、カメラとする）を取り付けることにより、以下の操作を行うことができます。

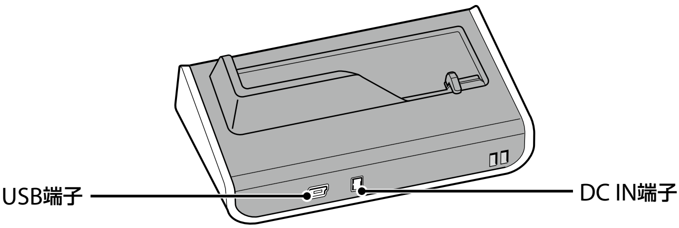
- カメラ内部にあるバッテリーをカメラ同梱のバッテリーチャージャーよりも速く充電することができます。
- パソコンと USB 接続し、画像を転送することができます。



各部のなまえ

サイバーショットステーション本体



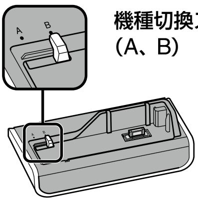


サイバーショットステーションを準備する

本機の準備

1 **機種切換スイッチを設定する**

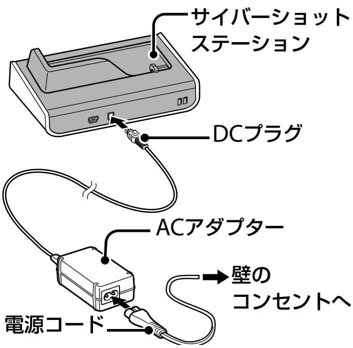
下表をご覧になり、機種切換スイッチをお使いのカメラに合わせて設定してください。



DSC-W200、DSC-W90、DSC-W85、DSC-W80	A
DSC-T100、DSC-T25、DSC-T20	B

2 **本機のDC IN端子に付属のACアダプターをつなぐ**

本機のPOWERランプが点灯します。



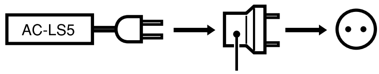
海外へお持ちになる方へ

ACアダプター AC-LS5は、AC100 V〜240 V、50/60 Hzの範囲でお使いいただけますので、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地さまざまですので、お出かけ前には旅行代理店などでお確かめください。

変換プラグアダプターがなくても使える主な国／地域

- 日本
- アメリカ
- カナダ
- ジャマイカ
- パナマ
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ホンジュラス
- メキシコ
- リベリア　など

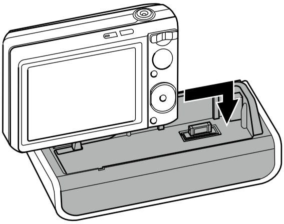
そのほかの国／地域については、旅行代理店でお確かめください。



ACアダプターを海外旅行者用の電子式変圧器(トラベルコンバーター)に接続しないでください。発熱や故障の原因となります。

カメラを取り付ける

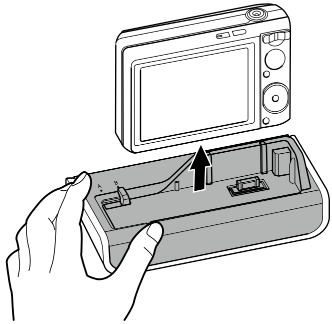
アダプターリング、コンバージョンレンズなどは取りはずす
図の向きにカメラを取り付ける



- カメラに"メモリースティック　デュオ"を入れてください。内蔵メモリーの画像を見るときは、"メモリースティック　デュオ"を入れないでください。
- カメラを本機に取り付けるときは、必ずカメラの電源を切ってください。

ちょっと一言
- 本機の右奥にカメラを合わせるとスムーズに取り付けることができます。
- カメラを奥まで確実に入れてください。

カメラを取りはずす



- 本機からカメラを取りはずすときは、本機を手で支えてください。

ご注意
- 取りはずす際、必ずカメラを真上に持ち上げてください。手前や横方向に力を加えると、故障の原因になる場合があります。

バッテリーを充電する

本機にバッテリーの入ったカメラを取り付ける

充電が始まり、本機のCHARGEランプが点灯します。

- カメラの電源が入っているときは充電できません。
- 充電が実用充電*に達するとCHARGEランプが消灯します。
  * 実用充電での撮影、再生時間は満充電の約90%です。
- カメラのバッテリーを使い切ってからの温度25 ℃での満充電時間は、下表をご覧ください。

DSC-T100、DSC-T25、DSC-T20、DSC-W200、DSC-W90、DSC-W85、DSC-W80	約 230 分

– 使用状況や環境によっては長くかかります。

- CHARGEランプが点灯しない場合や点滅が10秒以上続く場合は、「故障かな？と思ったら」をご覧ください。

ご注意

- 本機にカメラを取り付けたあと、CHARGEランプが3～10秒間ゆっくりと点滅することがあります。本機とカメラが通信中に表示され、故障ではありません。

充電するときの温度

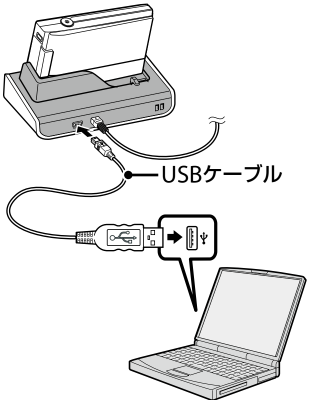
室温が0 ℃～40 ℃の範囲で充電できますが、電池の性能を充分に発揮させるためには、10 ℃～30 ℃での充電をおすすめします。10 ℃～30 ℃以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーごとに異なります。

撮影した画像をパソコンに取り込む

1 付属のUSBケーブルを本機とパソコンのUSB端子につなぐ



2 カメラの電源を入れる

カメラとパソコンがUSB接続の状態になり、パソコンに画像を取り込むことができるようになります。詳しくはカメラの取扱説明書をご覧ください。

USB通信中は、カメラを本機から取りはずさないでください。画像データが壊れることがあります。

カメラのUSBモードを解除するには

USBケーブルを抜く、またはパソコンの電源を切る。

－ 詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。

お手入れのしかた

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、から拭きします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので、使わないでください。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。
それでも正常に作動しないときは、ソニーの相談窓口にご相談ください。

症状	原因／処置
バッテリーが充電できない（CHARGE ランプが点灯しない場合）。	• カメラの電源が入っている。 → カメラの電源を切る。 • AC アダプターがはずれている。 → 正しく接続する。 • カメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。 • バッテリーが正しく取り付けられていない。 → バッテリーを正しく取り付ける。 • 充電が完了している。 • 正しいバッテリーが取り付けられていない。 → ご使用のカメラ推奨のバッテリーをご使用ください 。
CHARGE ランプが早く点滅する、または 10 秒以上点滅が続く。	• 正しいバッテリーが取り付けられていない。 → ご使用のカメラ推奨のバッテリーをご使用ください。 • 接続が正しくない。 → 本機からカメラを取りはずし、AC アダプターを接続し直す。CHARGE ランプ消灯後、本機にカメラを取り付ける。
カメラの電源が入らない、または電源が途中で切れる。	• カメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。 • AC アダプターがはずれている。 → 正しく接続する。
カメラがパソコンに認識されない。	• カメラの電源が入っていない。 → カメラの電源を正しく入れる。 • 付属の USB ケーブルを使っていない。 → 付属の USB ケーブルを使う。 • USB ケーブルがしっかり差し込まれていない。 → 一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「USB モード」になっていることを確認する。 • カメラが本機に正しく取り付けられていない。 → 正しく取り付ける。 • パソコンの USB 端子に本機以外の他の機器が接続されている。 → キーボード／マウス以外は取りはずす。
カメラが取り付けられない。	• 機種切換スイッチが指定の位置に設定されていない。 → 機種切換スイッチを指定の位置に設定する。

2ページも合わせてお読みください。

警告

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

分解禁止

火災や感電の原因となります。危険ですので、絶対に自分で分解しないでください。

内部の点検や修理については、ソニーの相談窓口にご相談ください。

内部に水や異物を入れない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。この製品は防水構造にはなっていませんので、水中や雨天での使用はできません。万一、水や異物が入ったときは、すぐにカメラ本体のスイッチを切り、本機からはずしてください。ACアダプターもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけない。加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

指定以外の AC アダプターを使わない

禁止

火災やけがの原因となることがあります。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

禁止

ぬれた手で本機をさわらない

感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

長期間使用しないときはACアダプターの電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

乳幼児の手の届かないところで使用／保管する

ケガ、感電、故障の原因になります。

指示

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置いたり、不安定な状態で設置すると、製品が落ちてけがの原因となることがあります。

指示

コード類は正しく配置する

電源コードやUSBケーブルなどは足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

指示

通電中の AC アダプターに長時間ふれない

温度が相当上がることがあります。長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

本機を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもって変形したり、火災の原因となることがあります。

禁止

危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがややけど、火災などを避けるため、下記の注意事項をお守りください。

危険 禁止

- 火の中に入れない。電子レンジやオーブンで加熱しない。
- ショートさせたり改造、分解しない。
- コインやヘアピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。
- 火のそばや炎天下、高温になった車の中などで放置したりしない。
- 水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体で濡らさない。

警告 禁止 指示

- ハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり落下させるなどの強い衝撃を与えない。
- 幼児の手の届かない場所に置き、口に入れないよう注意する。万一、飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 指定以外の電池を使わない。
  火災やけがの原因となることがあります。

主な仕様

サイバーショットステーション

入出力端子

USB端子　mini-B
DC IN端子
マルチ接続端子

一般

外形寸法
約124 × 45 × 65 mm
（幅×高さ×奥行き）
質量　約85 g
動作温度　0 ℃～40 ℃
保存温度　−20 ℃～＋60 ℃

AC アダプター

定格入力
AC 100 V~240 V、50/60 Hz
11 W
定格出力　DC 4.2 V*
最大外形寸法
約48×29×81 mm
（幅×高さ×奥行き）
質量　約130 g
動作温度　0 ℃～40 ℃
* 保存温度　−20 ℃～＋60 ℃
* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

同梱物

- サイバーショットステーション（CSS-PC1）(1)
- USBケーブル(1)
- ACアダプター（AC-LS5）(1)
- 電源コード(1)
- 印刷物一式

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- Cyber-shotおよび“Cyber-shot Station”（“サイバーショットステーション”）はソニー株式会社の商標です。
- “Memory Stick Duo”（“メモリースティック　デュオ”）はソニー株式会社の商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、サイバーショットステーションなどの不具合により記録や再生がなされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

付属している保証書は、国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときは

ソニーの相談窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
当社ではサイバーショットステーションの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、ソニーの相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- 型名：CSS-PC1
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ日

よくあるお問い合わせ、解決方法などはホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2511

修理相談窓口
フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2531
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

左記番号へ接続後、最初のガイダンスが流れている間に「401」＋「#」を押してください。直接、担当窓口へおつなぎします。

FAX（共通） 0120-333-389 **受付時間** 月～金：9:00～20:00 土・日・祝日：9:00～17:00

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、70%以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）
ゼロ植物油型インキを使用しています。

http://www.sony.co.jp/

Printed in Japan

2319275020